

共通語彙基盤の現状

■ 平成25年「世界最先端IT国家創造宣言」閣議決定

- データの組み合わせや横断的利用を容易とする共通の語彙(ボキャブラリ)の基盤構築にも取り組む。
- 国民がステークホルダーとして積極的に参加できるよう、クラウドを活用したオープンな利用環境を、データ・フォーマット、用語、コード、文字等の標準化・共通化、アプリケーション・インターフェイス(API)の公開等を行いつつ整備する。

■ 平成25年「世界最先端IT国家創造宣言工程表」IT総合戦略本部決定

- 2015 年度までに情報連携用語彙データベース(基本語彙の定義等をまとめたデータベース)を開発・実証する。
- 国際的な連携を踏まえた情報連携用語彙データベース(基本語彙の定義等をまとめたデータベース)の開発・実証を2013 年度～2015 年度に行う。

■ 平成25年「電子行政オープンデータ推進のためのロードマップ」IT総合戦略本部決定

- ある内容を示す用語や同じ用語の定義が組織によって異なっているとデータを横断的に又は組み合わせて処理・利用することが困難となるため、「新たな情報通信技術戦略工程表」を参照しつつ、新たなIT 戦略の策定に伴って定めることとする分担に従い、用語やその定義の標準化、効率的なデータ連係のためのツール等の整備について、内閣官房、総務省及び経済産業省が連携して進める。

■ 平成25年「情報連携用語彙データベース、ツールプロジェクト」開始

1

参考：共通語彙基盤の現状(24年度以前)

■ 平成24年「IT防災ライフライン構築のための基本方針及びアクションプラン」IT防災ライフライン推進協議会決定

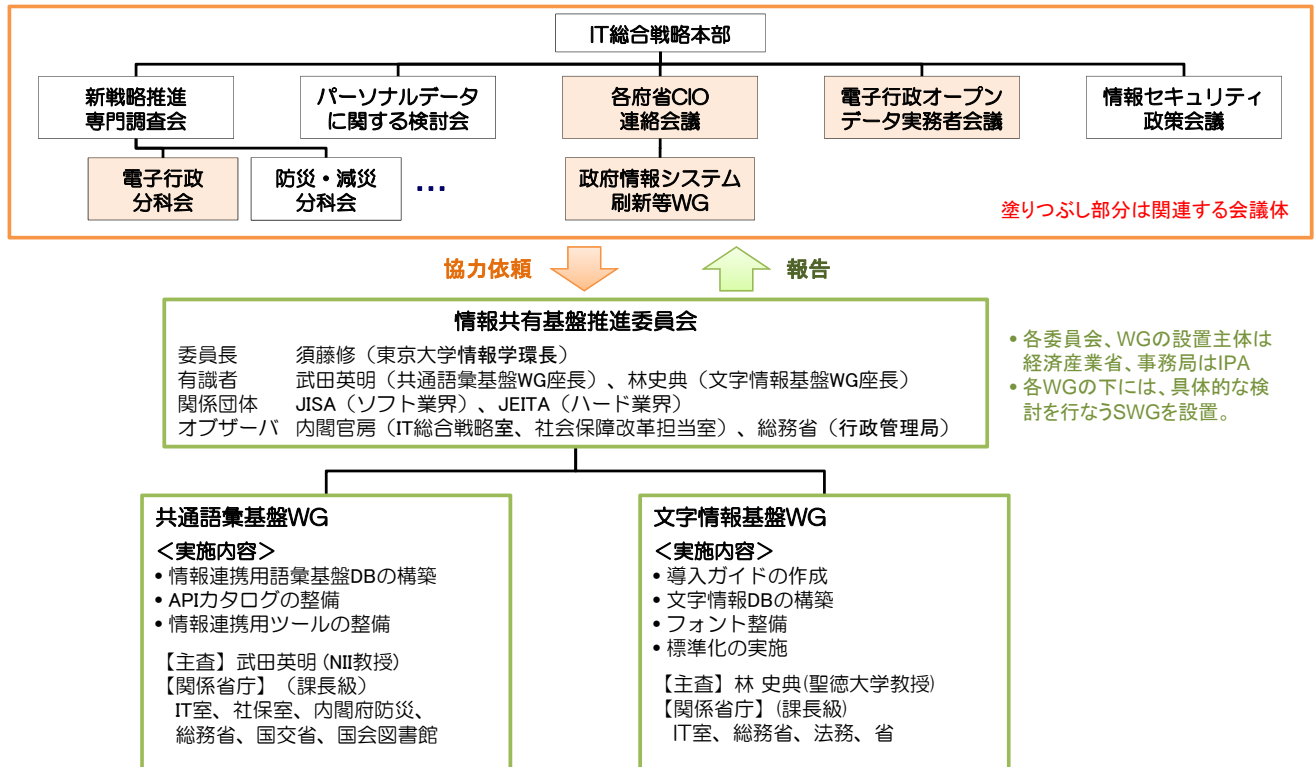
- 総務省で進める情報流通連携基盤構築事業による共通APIの開発と、経済産業省で進める公共情報交換標準スキーム(XMLベースの標準データ項目群)の検討を国際標準や国内の既存フォーマットも考慮しつつ連携させ、災害時等において必要な行政情報を迅速に提供するための検討を進め、実施可能な取組から実行する。

■ 平成24 年「新たな情報通信技術戦略 工程表」IT戦略本部決定

- データ活用を促進するためのフォーマット等の規範やマニュアルの整備、公共情報交換標準スキーム等の支援システム・ツールの実証を行う。

2

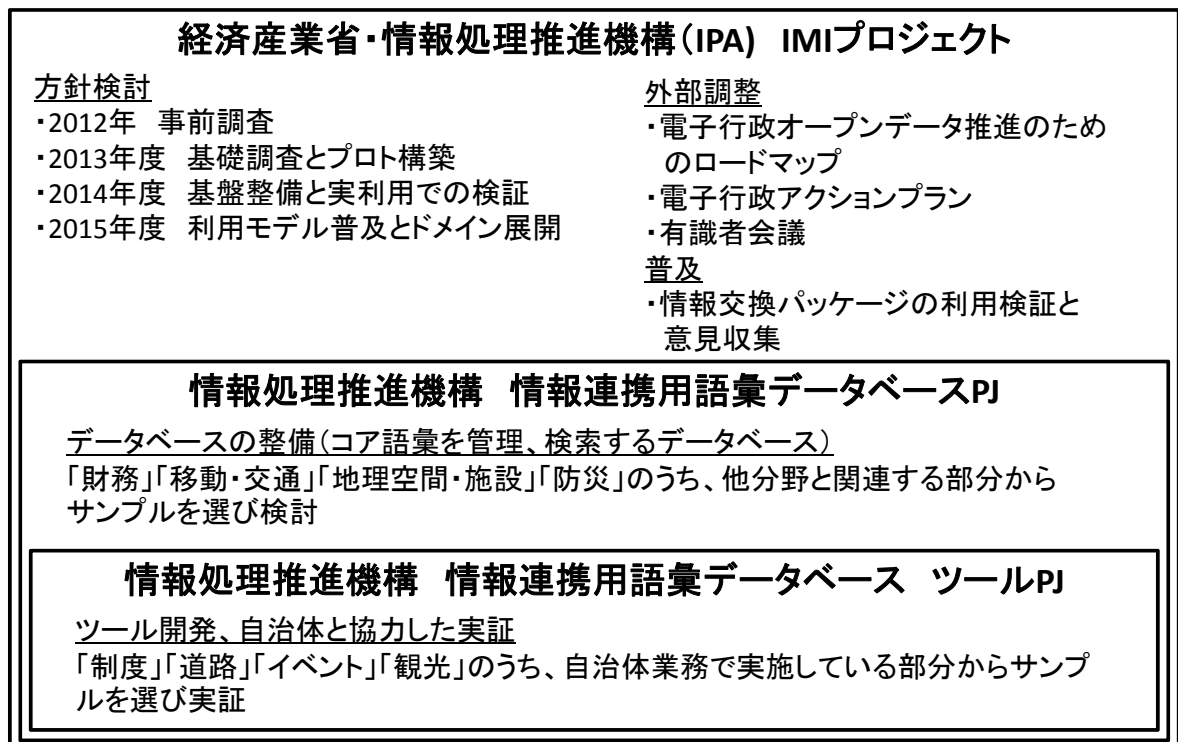
検討体制



3

現在の検討状況

■ 方針検討と整備検証を以下の体制で実施。

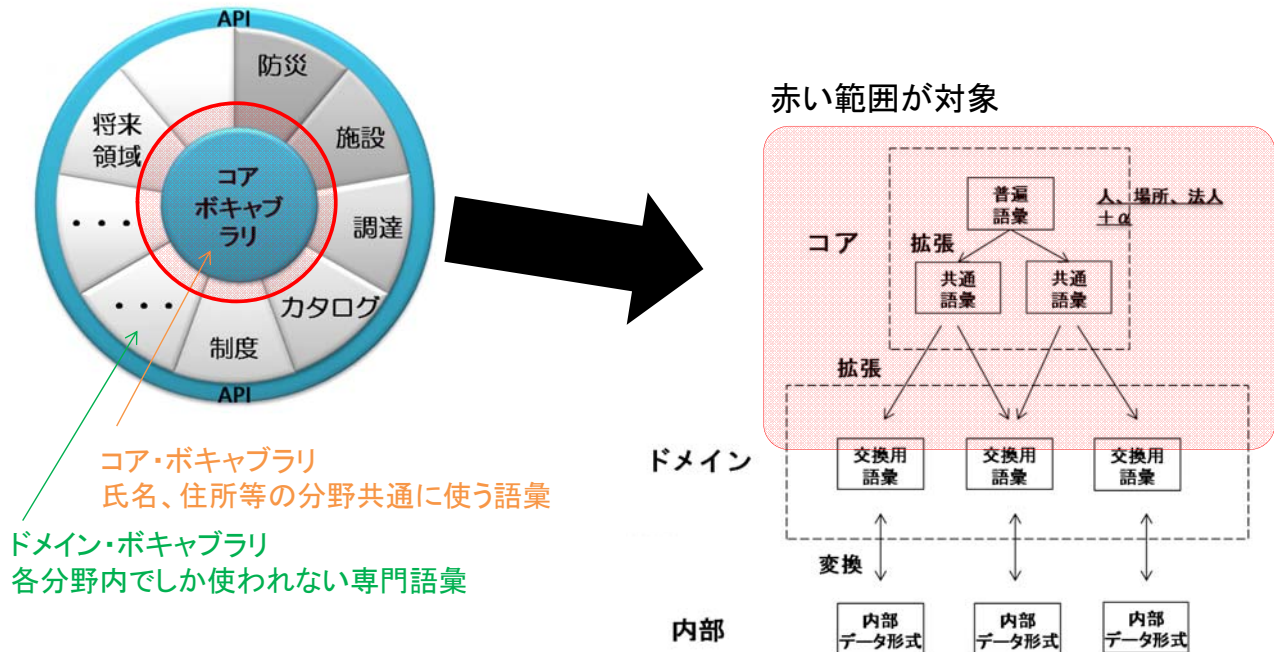


■ IT総合戦略本部の各種会議に報告予定。

4

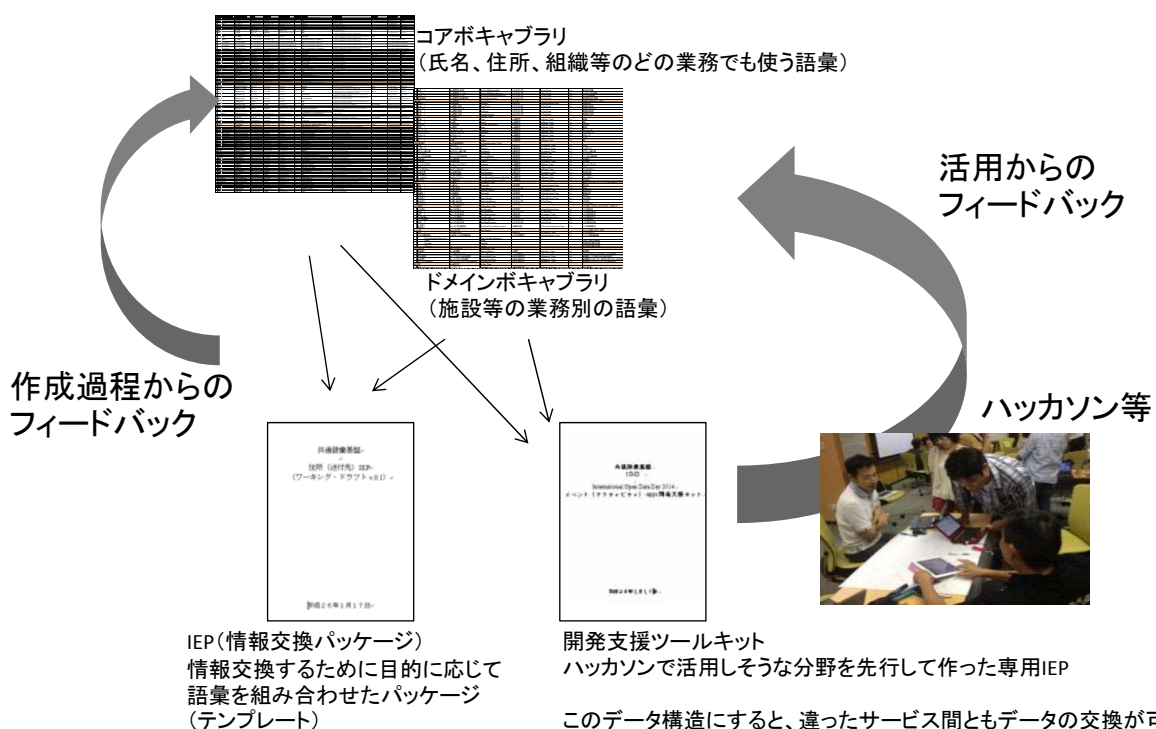
語彙の範囲

- コア語彙及び他業務とも関連の深い部分のドメイン語彙のみ対象とする。（「病院」という用語は、医療ドメインであるが、施設案内、防災、観光でも使用するため）
- 基本的にドメイン内でしか使わない専門の語彙は、専門家の領域なので対象としない。



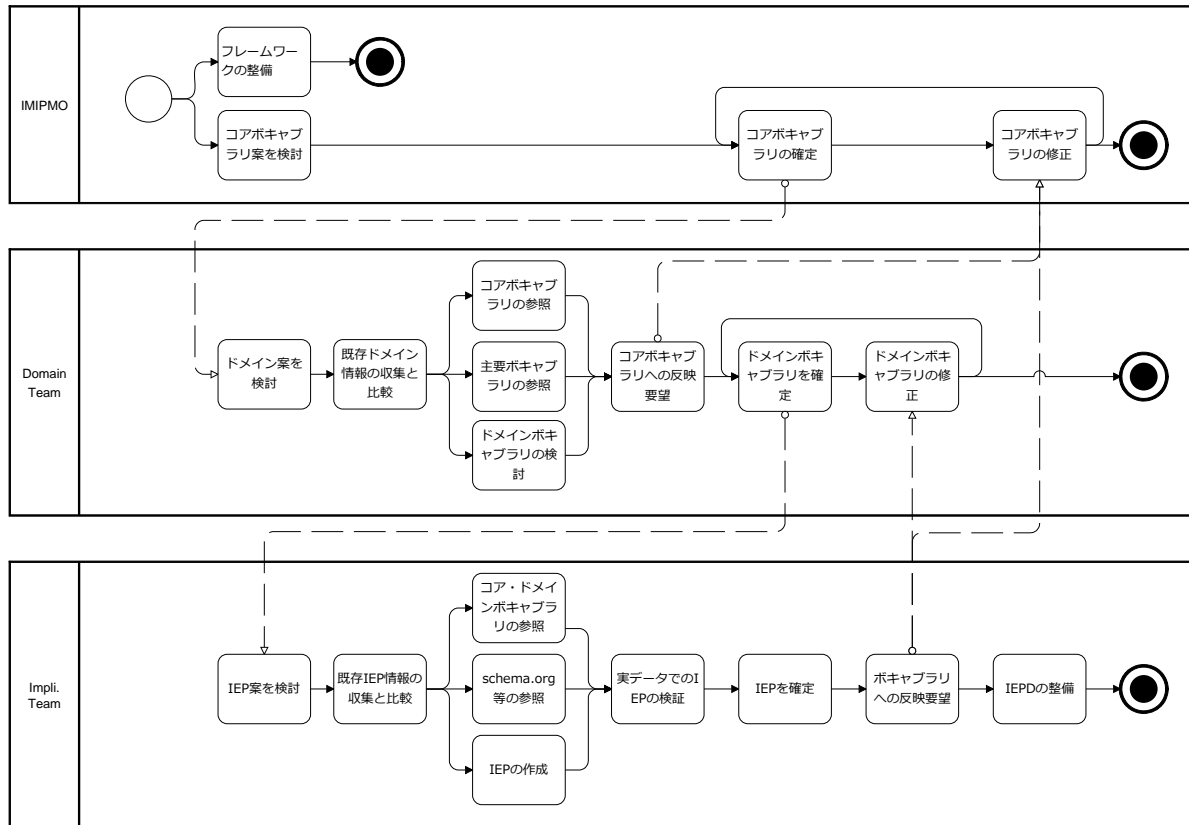
経済産業省での普及・検証

- これまで整備した語彙を元に、アプリ開発者による検証を実施



参考：情報連携パッケージ（IEP）整備フロー例

■ IEP検討過程を通じて、語彙の整備パターンを検証



7

海外の動き（米国NIEM）

- 米国は、政府全体の語彙基盤であるNIEMを13ヶ月かけて3.0にメジャー・バージョンアップ。2013年11月に公開。フレームワークが固まっているので、語彙、コードの修正を中心に実施した。
- 技術的な変更点は語彙間の関係記述をシンプル化するとともに、コードリストをいつでも更新可能にした。また、NIEMの実装を支援するツール類は、NIEM3.0に向けて変更中
- 以下の関連規格は継続見直し中
 - NIEM Naming and Design Rules (NDR)
 - NIEM Model Package Description (MPD) Specification
 - Conformance Specification
 - Conformance Target Attribute Specification
- NIEMの適用例は広がっており、利用事例表彰を政府で行っている。

8

参考: NIEM2013表彰プロジェクト

■ The 2013 Best of NIEM Winners:

- **Automated Secure Alarm Protocol**
 - City of Richmond, Department of Information Technology Public Safety Team
- **Maritime Information Sharing Environment**
 - U.S. Navy Data Engineering Services Center
- **New York State Justice Center Incident Report**
 - New York State Justice Center
- **Open Justice Broker Consortium (OJBC)**
 - States of Hawaii, Maine, and Vermont
- **Temporary Resident Biometrics Project**
 - Citizenship and Immigration Canada
 - U.S. Citizenship and Immigration Services

■ Honorable Mention:

- **Establishment of the NIEM Biometrics domain**
 - DHS Office of Biometric Identity Management
- **Canada and United States Entry/Exit Information Exchange**
 - Traveler Systems Division, Canada Border Services Agency and Land Border Primary Applications, U.S. Customs & Border Protection
- **Commonwealth of Virginia NIEM Integration Strategy**
 - Virginia Information Technologies Agency
- **CMS API Service (CAS)**
 - AMCAD Interfaces
- **The Public Assistance Reporting Information System (PARIS)**
 - Department of Health and Human Services Office of Child Support Enforcement, Administration for Children and Families

9

海外の動き(欧州Joinup/SEMIC)

- 欧州では、年次コンファレンスを実施し、普及を図っている。
- 「組織」「人名」「場所」を中核に推進している。そのため、各国や自治体も取り組みやすく、導入が始まっている。

■ 以下が現状のボキャブラリ

- Registered Organization Vocabulary(W3C)
 - 今年度W3Cに採用された
- Core Person Vocabulary
- Core Location Vocabulary
- Core Public Service